

皆のぶんまで
生きていこう

新藤兼人監督作品

一枚のハガキ

豊川悦司 大竹しのぶ

六平直政 柄本明 倍賞美津子 大杉漣 津川雅彦
川上麻衣子 絵沢萌子 大地泰仁 渡辺大 磨赤兒

監督・脚本・原作・新藤兼人

第23回
東京国際映画祭
審査員特別賞受賞

製作：新藤兼人、渡辺邦男、坂本大輔、プロダクション・エース、エース・プロモーション、現代映画協会
監修：林光、撮影：林有造、編集：渡辺邦男、照明：山下博、美術：栗田美晴
録音：宮崎浩、録音：佐藤隆、メイクアップ：三浦三郎、衣装：三浦三郎、音楽：三浦三郎
助映：委文化芸術振興費補助金
配給：東京テアトル、宣伝：ビクターエンタテインメント
www.ichimai-no-hagakiji.jp

戦争がすべてを奪った。戦争が人生を狂わせた。それでも命がある限り、人は強く生きていく。

新藤兼人、映画人生最後にして最高の傑作

映画を愛するすべての人に、
いまを生きるすべての人に、
観てほしい。

日本映画界の至宝、 新藤兼人が99年の人生をかけた 最後の最高傑作。



戦争末期に徴集された兵士100人のうち、94人が戦死し6人が生きて帰ってきた。その生死を分けたのは、上官が彼らの任務先を決める為にひいた“クジ”だった——。モスクワ、ベルリン、モントリオールなど海外の映画祭をはじめ、国内でも日本アカデミー賞、東京国際映画祭など国内外で数々の栄誉に輝く日本最高齢(99歳)の巨匠・新藤兼人。彼が自ら「映画人生最後の作品」と語る本作は、自身が生き残った兵士6人のうちの1人である新藤監督の実体験を元に作られた。人の命が“クジ”に左右され、兵士の死は残された家族のその後の人生をも破滅に導く。そんな戦争の愚かしさを、新藤兼人は体験者ならではの目線で、時に激しく、時に笑い飛ばすように描いてみせた。

戦争ですべてを失った男と女。 彼らを巡り合わせたのは 「一枚のハガキ」だった。



戦争末期。中年兵として徴集された男は、仲間の兵士から「今日はお祭りですがあなたがいらっしゃらないので何の風情もありません。友子」と記された一枚のハガキを託される。終戦後、そのハガキの送り主である兵士の妻を訪ねると、そこには夫の亡き後、たて続けに家族を失い、古家屋とともに朽ち果てようとしていた女の姿があった——。反戦のメッセージとともにスクリーンから溢れるのは、すべてを失ってもなお、たくましく生き抜く人々の力の素晴らしさ。生命力溢れる美しいラストシーンに込められた「希望と再生」へのメッセージは観る者に大きな感動をもたらすだろう。また、豊川悦司、大竹しのぶら歴代の新藤作品に出演した豪華キャストが勢揃いし、新藤監督の最後の想いを届ける。

生き残った男と女
がめぐり合った
一枚のハガキ

兼人



出演：豊川悦司 大竹しのぶ 六平直政 柄本明 倍賞美津子 大杉漣 津川雅彦 川上麻衣子 絵沢萠子 大地泰仁 渡辺大 麿赤児

監督・脚本・原作：新藤兼人 製作：新藤次郎/渡辺利三/宮永大祐 プロデューサー：新藤次郎 制作プロダクション：近代映画協会 音楽：林光 撮影：林雅彦 編集：渡辺行夫 照明：山下博/永田英樹 美術：金崎浩一 録音：尾崎聡 ラインプロデューサー：菅谷浩 助成：文化芸術振興費補助金 配給：東京テアトル 宣伝：ビターズ・エンド

http://www.ichimai-no-hagaki.jp/ 2011年/カラー/35mm/114分/日本

8/6(土)、魂を揺さぶるロードショー

特別鑑賞券¥1,500(税込/当日一般¥1,800の処)絶賛発売中! ★ 劇場窓口にてお買い求めの方に限り、新藤兼人監督直筆イラスト入りハガキをプレゼント(数量限定)!

「一枚のハガキ」公開記念
～映画監督・新藤兼人の軌跡～

7/23(土)～8/5(金) (上映詳細は後日お知らせ致します。)
『原爆の子』『裸の島』など名作19本をテアトル新宿にて一挙上映!

新宿駅東口 伊勢丹メンズビル 8F
シアター・新宿
テアトル新宿
03(352)1846 www.ttcg.jp
11:00 | 13:30 | 16:00 | 18:30
【公開中、上映時間変更の可能性あり。】